

漫画に関する報告書

バルトルディ高校
サンチェズ・マテオス・オセアン
ギュート・イオナ



出発前に私たちがテーマとして選んだのは「日本社会における漫画の影響」でした。ところがコロナウイルスのせいで私たちの研究活動のために予定されていた訪問や面会が中止に追い込まれてしまいました。それでも現地で学んだことを紹介する簡単な報告を行いたいと思います（本来ならばもっと完全な形の報告になるはずでした）。

日本社会において漫画は広く受け入れられており、どこにでもあることに気付かされます。国際交流基金の図書館やアサンプション国際高校の図書館にも、漫画専用の本棚がありました。フランスにおける漫画はバンド・デシネ（フランスのコマ漫画）の脇でわずかなスペースを占めているに過ぎません。日本では漫画でなくても表紙絵のスタイルやサイズが漫画とよく似ている本がたくさんありました。



漫画は新聞にも掲載されています。アンスティチュ・フランセ関西訪問時に記者から取材を受けた後、新聞に目を通していたらいくつか漫画が載っていることに気がきました。フランスの新聞では小さなバンド・デシネの形式で風刺画を見ることがありますが、日本の新聞の漫画もこれと同じように日常生活の一部になっているのだらうと思います。日本では新聞漫画は独特のスタイルで描かれているので、すぐにそれと見分けがつきます。

また広告や（例えば公共交通機関内でのマナーに関する）情報の周知を目的とする多くの漫画を見かけましたが、こうした漫画は公共交通機関だけではなく社用車にも使用されています。軽薄なイメージが企業につきかねないためフランスでは考えられないことですが、日本では人々の注目を集める良い手段として適切に利用されているように思われました。

漫画は学習の場でも大きな役割を担っています。例えば朝のテレビでは漫画の登場人物が出てきて子供たちを教育するアニメが放映されています。さらにホストフレンドの家ではドラえものの地図を使って日本の地域や特産品を教えてくださいました。漫画は年齢を問わず楽しく学習するためのツールとして役立っています。

もちろん漫画は本来娯楽でもあります。関連グッズの店もフランスよりかなり数が多く、漫画の重要性が伺えます。ですがネット上での情報とは逆に、交通機関内で漫画を読んでいる人は（成人、子供を問わず）1人も見かけませんでした。

漫画が日本社会に与えている影響は明らかです。小さな子供の学習、情報伝達、さらに娯楽や広告などに漫画が使用されています。日本においてはフランスよりも漫画が広く受け入れられており、フランスでは不真面目だとみられかねない漫画や関連グッズもごく普通に見かけます。



しかし稲畑さんは、外国人の視点があって初めて日本人が自らを客観視し、自国の文化における漫画の重要性に気付くことができたのだと仰いました。また京都の立命館大学のワッセルマン教授によれば、漫画は外国で日本を代表するものとして受け入れられ、今では日本文化の一部になったとのこと。（その昔、映画や浮世絵がそうであったように）現代においては漫画が世界に向けて日本を PR し、外国人にこの国の魅力をアピールする役割を担っているわけです。

京都精華大学の吉村和真教授と意見交換できていれば、さらに踏み込んだ研究活動を実施できていたはず…… 漫画に関する多数の研究を発表している吉村教授は、私たちの疑問に対し専門家の意見を述べ、私たちにより充実した視点を与えてくれたことでしょう。社会における漫画（その位置付け、人々に対する影響）について尋ねてみたかったですし、また学生に教えている内容（フランスにはこのような学問はありません）について質問したかったです。また漫画に娯楽や教育とは別の（例えば政治、医療など）用途はないのか、そんな質問もしたろうと思います。様々な組織と仕事をしておられるので、漫画と企業の間についても教えていただけたかもしれません。社会が漫画に及ぼす影響についても知りたかったです。また京都国際マンガミュージアムを訪問し、漫画の歴史や漫画が社会に対しどのように影響力を強めてきたかについても学びたいと思っていました。スタジオジブリや「マンガとアニメの聖地」豊島区を訪問できていれば、この研究活動もより一層充実したものになったでしょう。後日フランスの専門家に連絡を試み、フランスとの比較を行うことも考えていました。言うまでもなく、どうやってもこれらが実現不可能であったことは理解していますし、今回のご尽力には感謝しています。

いずれにしても漫画についてさらに知識を深めることができましたし、漫画が日本社会において、また日本の象徴として世界で重要な役割を担っていることは間違いなく、これをもって本稿の結論といたします。